



まめなかな

平成29年1月号

共寿

検索

発行所: 老人保健施設共寿

<http://kyojukai.jp/>

あけましておめでとうございませす

新年ご挨拶



施設長
水口 一衛

明けましておめでとうございます。

謹んで皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

共寿の管理医師を引き継いで、初めての新年を迎えました。老健協会の月刊誌によると、最近、高齢者の多剤処方と副作用が問題になっています。老健入所中は、外来通院などに比べて、利用者の状態を観察しやすいので、薬剤による副作用の把握が容易です。また、投薬数が増えるにつれて副作用も増えていることから、多くの施設で必要に応じた減薬が進められています。

このため、共寿においても、昨年10月から徐々に、「医療に関する同意書」の中で次のような説明をしています。「薬剤の副作用（ふらつきや精神症状など）が疑われたときや、既に病状が回復／改善している場合には、他の医療機関で処方された薬剤を含めて、薬剤の休止／減量／変更を行いたいと思います。当施設の医師に任せていただいてよろしいでしょうか」。

この取り組みを始めてから、実際に減薬が適切であったケースが続いています。今後とも、職員一同、より良い療養を目指して努力いたします。どうぞよろしくご指導ご協力をお願い申し上げます。



餅つき



年末恒例行事となっている餅つきが12月28日に行われました。今年も、萩原の上村区よりいただいたもち米を使わせていただきました。上村こども会の皆様、ありがとうございました。昔ながらの杵と臼でついたお餅で、祭神様へのお供えである鏡餅を作り、また、飛騨地方のお正月の縁起物である花餅を、職員の手助けを受けながら入所・通所のご利用者様で作っていただきました。紅白のお餅を枝に交互につけて華やかな花餅ができあがりました。



今年もたくさんの利用者様に参加して頂いた餅つきとなりました。おやつの時間には、つきたてのお餅で作った、ぜんざいとしょう油だれ餅を食べていただきました。皆様、お餅は大好きとみえて、笑顔ひろがるおやつの時間となりました。来年も皆様が健やかに過ごしていただけることを祈りながら無事に餅つきを終えることができ新年を迎える準備が整いました。



ひだまいだより

ひだまり棟ではクリスマスに向けて利用者様と一緒に折り紙を星のシールなどで飾りつけたクリスマスツリーを作りました。大小さまざまなツリーが食堂の各テーブルに飾られてクリスマスムードを盛り上げていました。

また、お正月という事で扇子や羽子板などを利用者様と作り正月飾りをしました。面会の際はどうぞご覧ください。



さくらだより

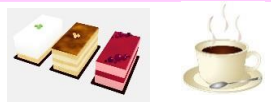
さくら棟ではクリスマスに向けての飾りと今年の干支の酉の壁面作りを行ないました。今までの壁面はちぎり絵が多かったのですが、今回は毛糸でポンポンをたくさん作り、それで酉の形を作ってみました。



入所の方も毎日楽しみながらポンポンをたくさん作ったり、いろいろな表情のサンタクロースができています。面会などでご来所の際にぜひ見ていってください。



秋のお茶会



11月6日(日)、ご家族の方々にもご協力していただき「秋のお茶会」を開催!! 多くのご家族に来ていただき、賑やかで笑顔の溢れる会場になりました。お茶菓子としてケーキを提供させていただき、皆様美味しく食べていただきました。中には待ちきれずにフライング気味の方も! また文化の秋として高山よりお招きした民謡ユニット「玉響(たまゆら)」さんによる三味線と和太鼓の迫力ある演奏や歌で感動! 手拍子を打ったりして楽しい時間を過ごしていただきました。



お忙しい中参加していただき有難うございました。また、お時間が合わず参加を見合わせた方々も都合が合いましたら次回はぜひご参加ください。皆様のご協力で行えたことに深く感謝いたします。又このような機会の皆様との関わりが出来るように職員一同努力していきます。これからも宜しくお願い致します。

えっ!?冬に食中毒?



「食中毒」は梅雨から夏にかけてとって思いませんか? それも間違いではありませんが、ノロウイルスでは夏場よりも冬場の方が流行するのです。ノロウイルスに感染しても発症しないことや37度台の微熱で治まる事がほとんどなので、風邪と間違えてしまうこともあります。しかし、場合によっては、嘔吐や下痢が続き、脱水症状になる恐れもあります。症状は通常1~2日で改善に向かいますが、免疫力の低下した高齢者や乳幼児は、激しい嘔吐や下痢による脱水症状や嘔吐したものを誤って吸い込んで肺炎や窒息などを起こすこともあります。一番厄介なのが二次感染を起こし、家族や施設・学校等で集団感染を起こすということです。

主な感染経路

- ① ウィルスに汚染された貝類を加熱不十分で食べる
- ② 感染者のふん便や嘔吐物からの二次感染
- ③ 家や施設内等での飛沫による感染
- ④ 感染者が調理して汚染された食品



ノロウイルスは、アルコールや高温に耐性があり、乾燥や酸、水の中も平気です。まずは予防。「感染しない・させない」が大事。その為には手洗いが重要となってきます。そして感染した人の下痢や嘔吐物の処理を適切に行う事です。必要以上に怖がる事はありませんが、知識のひとつとして頭の片隅にでも留めておいていただけたらと思います。共寿でも勉強会を開いて感染予防・拡大防止に取り組んでいます。

何かお聞きになりたいことがあれば気軽にスタッフまで声をかけて下さい。